

生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(40目標)について、平成29年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名	現況		目標		29年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管部局	達成 状況																																																					
	年度	数値	年度	数値																																																									
1 長寿社会を豊かに生きる生涯学習																																																													
(1) 全国学力・学習状況調査で「学習意欲」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合(小・中学校)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>本県</th> <th>全国</th> <th>本県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日あたり1時間以上勉強していますか。</td> <td>54.0%</td> <td>59.5%</td> <td>70.8%</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td>国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。</td> <td>59.7%</td> <td>61.3%</td> <td>47.3%</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。</td> <td>79.3%</td> <td>79.1%</td> <td>67.1%</td> <td>66.3%</td> </tr> </tbody> </table>				項目	小学校		中学校		本県	全国	本県	全国	学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日あたり1時間以上勉強していますか。	54.0%	59.5%	70.8%	66.4%	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	59.7%	61.3%	47.3%	50.4%	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.3%	79.1%	67.1%	66.3%	24	左表参照	毎年度	すべての項目で全国平均を上回る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>本県</th> <th>全国</th> <th>本県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日あたり1時間以上勉強していますか。</td> <td>57.4%</td> <td>64.4%</td> <td>71.3%</td> <td>69.6%</td> </tr> <tr> <td>国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。</td> <td>64.6%</td> <td>68.0%</td> <td>55.5%</td> <td>62.7%</td> </tr> <tr> <td>算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。</td> <td>80.8%</td> <td>81.4%</td> <td>71.3%</td> <td>71.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	小学校		中学校		本県	全国	本県	全国	学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日あたり1時間以上勉強していますか。	57.4%	64.4%	71.3%	69.6%	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	64.6%	68.0%	55.5%	62.7%	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	80.8%	81.4%	71.3%	71.2%	小 0/3項目 中 2/3項目	肯定的に回答する児童生徒の割合は、全ての項目で昨年度よりも増加したものの、依然として全国を下回る項目もある。学力・学習状況充実プランにおいて「学力・学習状況の充実に向けたガイドライン」として改善の指針を示す等、市町村や小・中学校に対して継続した働きかけを行っていく必要がある。	教育委員会	×
	項目	小学校		中学校																																																									
		本県	全国	本県	全国																																																								
	学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日あたり1時間以上勉強していますか。	54.0%	59.5%	70.8%	66.4%																																																								
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	59.7%	61.3%	47.3%	50.4%																																																									
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.3%	79.1%	67.1%	66.3%																																																									
項目	小学校		中学校																																																										
	本県	全国	本県	全国																																																									
学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日あたり1時間以上勉強していますか。	57.4%	64.4%	71.3%	69.6%																																																									
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	64.6%	68.0%	55.5%	62.7%																																																									
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	80.8%	81.4%	71.3%	71.2%																																																									
健康寿命の延伸	22	男71.74年 女74.93年	(34)	男75年以上 女80年以上	男73.06年 女76.32年 (28年)	現況(平成22年)から男女ともに延伸している。目標達成に向け、今後も関係機関と協力しながら健康作りの対策を推進していく。	健康福祉部	×																																																					
特定健康診査の受診率	22	45.9%	29	70.0%以上	51.6%	目標は達成していないが、受診率は平成24年度から年々上昇している。特定健診・特定保健指導の情報を分析し、効果的な啓発方法等を検討しながら、関係機関と協力し県民への啓発に努める。	健康福祉部	×																																																					
総合型地域スポーツクラブの会員数	23	54,615人	毎年度	前年度を上回る	238,912人 (313,304人)	総合型地域スポーツクラブの目的として、県民が、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる環境の整備がある。しかし、県内には、総合型地域スポーツクラブの未育成町が2町存在する(1市は育成段階)ことから、県内全市町村にクラブが創設されるように支援するとともに、既存クラブの質的向上を目指していく。また、学校部活動との連携強化を図っていく必要がある。	教育委員会	×																																																					
(3) 文化芸術に親しむ人の割合	22	43.0%	27	50%	28.5% (43.4%)	芸術文化センター及び陶磁美術館においては、各館の特性を生かした県民にとって魅力的な催しを実施する必要がある。また、県が実施するイベントにおいては、魅力的な企画内容とともに、効果的な広報を適切に行い、多くの県民が参加するよう努める。	県民文化部	×																																																					
	23	1,354件	毎年度	前年度を上回る	1,571件 (1,521件)	目標を達成できているが、引き続き候補物件の把握に努め、調査及び審議を推進していくため、どこに、どのような文化財が存在するか、全体的・網羅的に把握することを目的とした文化財のしっ皆調査を行う必要がある。	教育委員会	○																																																					
	23	61%	29	80%以上	74.1% (72.2%)	現在のところ、策定の予定がない市町村が6市町村(11.1%)あることから、今後、各市町村の状況を考慮し、策定の意義の普及と支援の方法について、より工夫をしていく必要がある。	教育委員会	×																																																					

生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(40目標)について、平成29年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		現況		目標		29年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管部局	達成 状況
		年度	数値	年度	数値				
(4)	あいちシルバーカレッジの年間受講者数	23	500人	26	540人	600人 (600人)	平成27年度から会場を新たに創設し、定員を60名増やした。(平成27年度から定員は600名)しかし、入学生は例年応募者多数のため抽選により決定し、選外となる者もいるため、より多くの者に学ぶ機会を提供できるよう、平成30年度から定員を30名増やし、630名となった。今後も委託先の愛知県社会福祉協議会と抽選方法や会場の検討(定員増)等を引き続き行っていく必要がある。	健康福祉部	○
2 家庭と地域の教育力を高める生涯学習									
(1)	「親の学び」学習プログラム活用講座(家庭教育研修会)参加人数	新規	—	毎年度	2,000人以上	2,167人 (2,215人)	講師は地域に偏りがあるため、講師数の増を図るとともに、幼稚園や保育所などにとどまらず、保健センター等関係機関との連携により、研修会の開催場所を広げていく必要がある。	教育委員会	○
	子育てネットワークの活用市町村数	23	22市町村	29	40市町村以上	48市町村 (45市町村)	市町村に対して、子育てネットワークの活用を働きかけるとともに、ネットワーク自身にも、自ら市町村に働きかけるよう促していく必要がある。	教育委員会	○
	相談活動により状況の好転した児童生徒数の割合	23	62.5%	毎年度	65%以上	80.4% (86.3%)	相談者の多くが重篤なケースであるが、対応する相談員への研修や相談員間での情報交換を行い、様々なケースに対応できるようにしていく必要がある。	教育委員会	○
(2)	学校支援地域本部におけるボランティア数	23	1,029人	毎年度	前年度を上回る	695人 (582人)	子供たちを育てる意義を啓発し参加者を広く募るとともに、継続的にボランティアの資質向上に努めていく必要がある。	教育委員会	○
(3)	子ども・若者支援地域協議会を利用できる子供・若者の割合	24	16.2%	26	70%	57.5% (57.5%)	各市町村の課題状況は多様で、地域資源や協議会の必要性への認識に差があることなどから、協議会の設置は容易ではない。今後も、子供・若者の行政分野を越えた総合支援の重要性を広く訴え、各市町村が実情に応じて取り組めるように情報提供や支援を行い、協議会設置に向けて働きかけをしていく必要がある。	県民文化部	×
	地域における青年指導者の養成数	23	11人	毎年度	20人	15人 (18人)	研修修了後、地域社会ですぐに活用できる知識・技能の習得を目指した魅力あるプログラムの開発を行うとともに、青年講座の開催について、効果的な周知方法を研究し、参加者を増やしていくことが必要である。	教育委員会	×
(4)	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数	23	72,000人	27	100,000人以上	113,000人 (105,000人)	より多くの県民に食育を学ぶ機会を提供するため、食育推進ボランティアの活動人数を増やすとともに活動支援内容の充実を図る必要がある。	農林水産部	○
3 持続可能な社会作りを進める生涯学習									
(1)	ユネスコスクールの認定数	25年 2月	27校	26	150校以上	163校 (162校)	目標を達成することができたが、引き続き充実した活動を行うことが重要であるため、加盟校の活動支援に重点を置いていくことが必要である。	教育委員会	○
(2)	県民との協働・連携により、農地などでの生物多様性の保全活動を行う組織数	21	98組織	27	131組織	—	平成27年度に目標を達成済み(178組織)平成28年度以降未集計	農林水産部	○
	地域における生態系ネットワーク協議会の設立数	24	3協議会	29	9協議会	9協議会 (9協議会)	生態系ネットワーク協議会の活動のさらなる活性化に努める必要がある。	環境部	○
(3)	防災学習システムのアクセス件数	23	92,944件	29	230,000件	415,531件 (333,504件)	熊本地震の発生以降、各地域で地震が発生し、地震への関心が高まっていることから、引き続きイベント等を通じて県民への啓発を進めていく。	防災局	○
	防犯ボランティアリーダーの養成数	24	959人	27	2,000人以上	4,919人 (4,180人)	目標を達成できているが、自主防犯団体の構成員の高齢化や後継者不足の課題に対応するため、引き続き防犯活動の担い手である防犯ボランティアを養成する必要がある。	県民文化部	○

生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(40目標)について、平成29年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名	現況		目標		29年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管部局	達成 状況
	年度	数値	年度	数値				
(4) 人権啓発イベントへの参加により、人権を尊重するきっかけになったと思う人の割合	23	89.9%	毎年度	90%以上	94.39% (94.29%)	目標を達成することができたが、引き続き多くの県民が参加し、人権尊重への意識を啓発できるようイベントの周知を図る必要がある。	県民文化部	○
(5) ファミリー・フレンドリー企業登録数	23	912社	27	1,721社	1,248社 (1,204社)	子育てや介護をしながら安心して働き続けられる職場環境を作るためには、ファミリー・フレンドリー企業の登録を一層促進するとともに、多様で柔軟な働き方を周知啓発する必要がある。	産業労働部	×
(6) 要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成数	23	要約筆記者 22人、通 訳・介助員 15人	毎年度	各20人	要約筆記者29人 (12人) 通訳・介助員19人 (9人)	要約筆記者及び盲ろう者向け通訳・介助員の活動や必要性について普及啓発を行い、受講者の掘り起こしに努める必要がある。	健康福祉部	×
(7) 国際理解ワークショップの開催数	24	4回	26	8回	4回 (5回)	より多くの学生が参加しやすいよう、回数・内容を検討するとともに、参加した学生が講座終了後、活動につなげていけるよう支援していく必要がある。	県民文化部	×
(8) 技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの来場者数	新規	—	26	180,000人 以上	—	平成26年度に実施し、来場者数は289,000人であったため目標を達成している。	産業労働部	○
4 職業的自立を高める生涯学習								
(1) 全日制県立高等学校におけるインターンシップ等の体験人数	23	9,483人	27	16,000人 以上	18,243人 (17,323人)	普通科においてインターンシップ等の体験活動の実施率を向上させることが課題となっていることから、「総合的な学習の時間」等を活用し、キャリア教育に関する授業を継続実施する。	教育委員会	○
(2) 愛知県職業訓練会館の利用率	23	53.9%	毎年度	60%以上を 維持	60.8% (56.8%)	目標を達成することができたが、引き続き、職業能力開発協会が会館利用の促進を目指し、事業所・団体が職業訓練を行う際には当会館を利用するよう積極的に呼びかけるとともに、県としても職業能力開発協会が行う積極的な広報活動を支援する必要がある。	産業労働部	○
(3) 大学院、大学、短期大学、高等専門学校における公開講座の開催数	23	2,619講座	29	2,750講座 以上	3,004講座 (2,965講座)	行政や大学等の情報交換の場を設けるなど、より一層取り組みやすい環境作りを整備し、引き続き働きかけていくことが必要である。	教育委員会	○
5 生涯学習推進体制作り								
(1) 生涯学習推進本部会議の開催回数	23	1回開催	毎年度	1回以上 開催	1回 (1回)	単に開催したという実績だけでなく、会議を通して生涯学習にかかる全庁的な意思統一、認識の共有を図ることが重要である。	教育委員会	○
(2) 生涯学習情報システム「学びネットあいち」アクセス件数	23	5,799,436件	毎年度	前年度を 10%上回る	2,160,720件 (1,527,331件)	県民の高度化かつ多様化する学習ニーズに対応するため、常に魅力的な学習コンテンツや学習情報を提供することによって、アクセス件数の増加を図ることが必要である。	教育委員会	○
生涯学習情報システム「学びネットあいち」ネットワーク機関数	23	1,410機関	29	1,800機関 以上	1,693機関 (1,714機関)	生涯学習情報の提供は県の重要な役割であることを再認識し、新たな情報提供機関の深耕に努めていく必要がある。	教育委員会	×
(3) 生涯学習支援ボランティアの登録数	23	211人	29	400人以上	296人 (294人)	ボランティアを養成するための講座を継続して実施していくとともに、ボランティアを必要とするイベント等の情報提供など、ボランティアが活動しやすい環境作りに努める必要がある。	教育委員会	×

生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(40目標)について、平成29年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名	現況		目標		29年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管部局	達成 状況
	年度	数値	年度	数値				
地域指導者の養成数	24	155人	毎年度	250人以上	256人 (208人)	人材の養成は県の重要な役割の一つであり、社会の状況に応じて、必要な人材を養成するための研修を継続的に実施していく必要がある。	教育委員会	○
市町村立図書館の行う研修会への県図書館職員の派遣者数	23	35人	毎年度	50人以上	95人 (36人)	市町村立図書館のニーズを的確に把握するために、人的交流、情報交換の機会を確保することと、派遣する職員のコミュニケーション能力や問題把握能力の向上、また、こうした能力を有する人材の確保と育成に努める。	県民文化部	○
愛知芸術文化センター来館者・施設利用者率(来館者・施設利用者/県人口)	23	32.9%	毎年度	30%以上	26.3% (36.37%)	美術館、芸術劇場等の有する高度な施設機能を生かして、それぞれの部門が創意工夫を凝らし事業を遂行するとともに、複合施設であるセンターの特性を踏まえ、相互に連携を図り、より柔軟で弾力的な運営を行い、更なるサービスの向上を図る。	県民文化部	×
愛知県陶磁美術館来館者数	23	103,386人	毎年度	100,000人を維持	68,463人 (79,159人)	サービスの向上を図るとともに、教育普及プログラムの充実に努め、魅力ある美術館作りに努める。また、SNS等を活用し、情報発信の強化に努める。	県民文化部	×
青年の家年間宿泊利用率	23	42.8%	27	50%以上	32.6% (38.4%)	宿泊利用者数が少ない閑散期(10月～2月)の宿泊利用者数を伸ばす必要がある。	教育委員会	×
美浜少年自然の家年間宿泊利用人数	23	48,140人	27	51,000人以上	52,318人 (50,387人)	宿泊利用者数が少ない閑散期(10月～2月)の宿泊利用者数を伸ばす必要がある。	教育委員会	○
旭高原少年自然の家年間宿泊利用人数	23	53,896人	27	54,200人以上	51,428人 (47,830人)	宿泊利用者数が少ない閑散期(10月～2月)の宿泊利用者数を伸ばす必要がある。	教育委員会	×
清洲貝殻山貝塚資料館利用人数	23	2,159人	毎年度	2,400人以上	10,178人 (9,087人)	今年度から新施設の建設工事及び史跡整備工事に着手するため、駐車場など利用範囲が限られる。また、現資料館についても、平成30年度に実施設計を行い、平成31年度に改修工事のためへ移管することもあり、これまで清洲貝殻山貝塚資料館で行っていたイベントについても他の会場で実施することとし、現資料館の利用者人数は減少せざるを得ない状況である。 今年度は、県内のイベントなどにワークショップなどのブースを出展し、朝日遺跡及び平成32年秋頃開館予定の新施設のPR活動を中心に実施するとともに、新施設の開館後にも多くの方に利用していただけるよう、地域と連携した事業を検討する必要がある。	教育委員会	○

達成 23
未達成 17
計 40